

図書館からのお知らせ

* 4月23日(土)~5月12日(木)
こどもの読書週間企画

『今年も走ろう、読書マラソン2022』

8年目の読書マラソン。今年も全11コースを用意しました。

どこでもドアコースは完全リニューアルしました。どのコースも魅力的なラインナップです。

リストの本を借りて読んだらシールを貼ります。全部の本にシールが貼れたら完走です。完走賞と宝箱を開ける権利を差し上げます。

好きなコースを好きなペースで走ろう。

村図書館と学校図書館共催。どちらにも専用コーナーがあります。

リストは図書館ホームページにもアップしています。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ!

BOOK No.57
編集=山形村図書館

『図書館のいま』

〜令和3年度を総括〜

令和3年度もコロナに始まりコロナに終わりました。10周年の図書館まつりを盛大に開催できたことが、奇跡に思えます。

まん延防止等重点措置が適用されるほど状況が悪化し、図書館は2月1日から入館することができなくなりました。貸出冊数を無制限、貸出期間を4週間に延長し、書架の本がバタバタ倒れるほど借りていただきました。インターネットや電話で予約

Table with 4 columns: 令和3年度利用登録者, 令和2年度, 令和3年度, 前年度比. Rows include 蔵書数, 貸出冊数, 貸出人数, 入館者数.

いただき、入り口にDVDやおすめの本を並べたり、リクエストをお聞きし、館内の本を集めて提供したりと工夫を重ねました。細ぼそとはありますが、休館することなく皆さんに本を渡し続けた結果、昨年度より利用を伸ばすことができました。

令和4年度は、『おはなしの会こぐま』、『ぶつくかふえ』を再開、図書館イベントもいろいろ企画しています。足をお運びください。

『コロナの時代の不運なBOOKS』を展示

2月1日から3月23日まで、2ヶ月近く入館できなかった期間に、図書館には新着本が300冊以上入りました。皆さんの目に触れることなく、寂しく棚を埋めていました。普段ならこの棚から借りられて、スカスカが常なのに。



3月24日から入館できるようになったのを機に、話題になった本『コロナの時代の僕ら』(パオロ・ジョルダノ 早川書房)をもじったキャッチコピーでテーマ展

示をしました。利用者の皆さんの多くは、入館するとまずこの棚をチェック。気になる本を何冊もかかえ、ご満悦の様子にうれしくなります。自分の目で見て手に取って吟味して…これが本選びの醍醐味ですね。

令和3年度に新しく入った本をリストにし配布しています。気になつていながら読み残した本はありませんか? チェックしてみてください。

『おはなしの会こぐま』再開!

4月7日、1月からお休みしていた『おはなしの会こぐま』を再開しました。



この日は4組の親子が参加。3ヶ月会わなかっただけで子どもたちはおしゃべりが達者になり、まねっこも上手。手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせを楽しみました。親もリラクセスできたと喜ばれました。今後の日程は生涯学習カレンダーでご確認ください。申し込みは不要です。直接図書館にお越しください。

BOOK 57 新着本

おすすめ新着本紹介

『その日まで』瀬戸内寂聴(講談社)
2021年に亡くなった寂聴さん最後の作品。99歳まで現役作家としてペンをつらた著者が、自らの老いに向きあい、『その日』をみつめて綴った自伝的エッセイです。

『スリルライフ』
新庄剛志マガジンハウス
派手でハチャメチャなイメージの新庄さん。奇想天外な言動に隠された『人生哲学』に思いがけない一面を垣間見た気がします。日本ハムの新監督に就任。動向に注目したい人です。



『サイレンカーズかん』
小賀野実監修(成美堂出版)
消防車や救急車など、事故や事件、災害時に出勤する車両を集めた図鑑です。図書館の乗り物関連の本は子どもたちに大人気です。



『こんとこん』 早川純子(福音館)
「そろそろあるく」「ぞろぞろあるく」。濁点「ゝ」があるかないかで、おなじ文章が全く違う世界になってしまう。ゆかいなこぼ遊びの絵本です。

